

12月の保育のねらい 報恩(ごおん)

- ・親鸞様のご苦勞なされた話を聞く。
- ・親鸞様の喜んで下さるような子どもになる。
- ・困っている人に対してのお手伝いの方法を考える。



ふじ・さくら・たんぽぽ組

- ・友達と一緒に共通の目的を持って集団で遊ぶ楽しさを味わう。

ひまわり・れんげ組

- ・友達や保育士と一緒にごっこ遊びを楽しむ。

<行事予定>

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3 布団・ズック 持ち帰り	4
5	6	7 面接日	8	9 予行練習	10 布団持ち帰り	11 報恩講・ 生活発表会 修了児記念 撮影
12	13	14 食べきり運動	15 愛情弁当 身体測定 (ふじ・さくら ・たんぽぽ)	16 身体測定 (ひまわり)	17 身体測定 (れんげ) 布団・ズック持ち帰り	18 交流講演会 (ふじ組)
19	20 お店やさんごっこ 集金袋持ち帰り	21 絵本デー (ふじ・さくら)	22 お店やさんごっこ 避難訓練	23 誕生日会	24	25
26	27 集金引き落とし日	28 保育終了 (通常保育) 布団・ズック持ち帰り	29 休園	30	31	
				→		
				(～1月3日まで)		

今年もあと1ヶ月…。12月31日(大晦日)の夜には年越し蕎麦を食べるお家もあるかと思ひます。(もしかしたら、蕎麦アレルギーのある方はうどんやラーメンの方もあつてもいいんですが…。)

蕎麦は細く長い事から、①延命・長寿を願つた②1年間の災難や厄を落とす③家族の縁が長く続くように願つた④運気が上がる(食べると良い事がある噂)等由来があるそうです。なお、薬味のネギは一年の勞をねぎらうという意味があるそうです。家族一緒に今年も無事過ごせた事に感謝しながら食べると幸せですね。来年も良い年を迎える事が出来ますように…。



給食献立表 12月分

1日 (水)	豚団子 里芋のそぼろ煮 青菜のごまマヨ和え
2日 (木)	きびなごサクサク揚げ 酢豚風煮 白菜のピーナッツ和え 黄桃缶
3日 (金)	茶碗蒸し 野菜シューマイ 冬のコロコロサラダ
6日 (月)	ツナサラダフライ マカロニグラタン 棒々鶏サラダ
7日 (火)	ハムステーキ 焼うどん 大根サラダ
8日 (水)	鯖の立田揚げ すき焼き風煮 春雨とわかめの酢の物
9日 (木)	タンドリーチキン 五目豆煮 ハム野菜サラダ
10日 (金)	豆汁 煮物盛り合わせ ポテトサラダ すこ みかん
13日 (月)	豆腐ナゲット つき大根煮 中華風酢の物
14日 (火)	鶏団子 白菜のスープ煮 白和え パイン缶
15日 (水)	愛情弁当
16日 (木)	白身フライ 青菜の炒め煮 ごぼうサラダ みかん缶
17日 (金)	カレー汁 福神漬け 玉子焼き スパゲティサラダ
20日 (月)	肉コロケ しらたき炒め マカロニサラダ
21日 (火)	カレイの煮つけ 大根と鶏肉の旨煮 白菜のサラダ 黄桃缶
22日 (水)	ちくわの二色天 冬至南瓜 ゆで豚と野菜のサラダ パイン缶
23日 (木)	チキンライス クリームシチュー ゆでブロッコリー ゼリー
24日 (金)	フランクフルト 炒り玉子 かぶのツナサラダ
27日 (月)	ミニミンチカツ 卵の花 春雨サラダ みかん缶
28日 (火)	春巻き 金平ごぼう レタスサラダ

- * 10日は報恩講メニューの日です。お齋を作ります。
- * 23日は誕生会です。チキンライスを作りますので、主食は要りません。
- * 行事食の日を含め、お箸とコップは毎日お持ち下さい。
- * 材料納入等、都合により献立を変更することがあります。

12月22日は冬至です。冬至とは、1年で1番太陽の出ている時間が短く、夜が長い日です。冬至の日には、かぼちゃを食べて無病息災を願い、ゆずを浮かべたお風呂に入る習わしがあります。かぼちゃは、体内でビタミンAに変わるカロテンや、ビタミンB1、B2、C、E、食物繊維がたっぷり含まれており、ゆずの果皮には、風邪予防や保湿に良いとされるビタミンCや、血行を良くするといわれるヘスペリジンなどが豊富に含まれています。かぼちゃを食べて栄養をつけ、ゆずの成分で体を温めて風邪予防をしましょう。

<お知らせ>

*7日(火)は、当保育園の面接日になっております。(新入园児のみ)

申請書に基づき家庭状況をよく説明できる方がおいで下さい。

面接時間は、市のホームページに掲載されますので、時間を確認して下さい。

会場は河和田コミュニティーセンターの1F会議室です。お子さん同伴でおいで下さい。

*年末は、12月28日(火)通常保育(延長保育有り)とさせていただきます。

*保育開始は、令和4年1月4日(火)からです。4日(火)は、給食はお休みですので愛情弁当・水筒をお持たせ下さい。ですが、家族の方がお休みでお家で見て頂ける方はなるべくお家でのスキンシップの日にして下さいますようお願い致します。欠席される方は、12月22日(水)までに連絡帳にてお知らせ下さい。

*1月の園だよりは1月4日(火)に持ち帰ります。

<お願い>

*さくら組より

蝶々結びの練習をしたいと思います。令和4年1月中旬頃からお弁当箱を包む風呂敷から巾着袋に替えたいと思いますのでご用意をお願いします。(お子さんと一緒に、お家でも練習をしてみてください。)

こま袋をまだ持って来ていないお子さんはご用意をお願いします。

*ふじ・さくら・たんぽぽ組より

引き続き、水筒をお願いします。

*寒くなってきましたが9時までには登園して下さい。園でも生活リズムを整え元気に生活していきたいと思いますのでご協力をお願いします。

*防寒着等のループ(掛けるひも)を付けてきて下さい。

*持ち物に名前を書いて下さい。特に、衣類は枚数が多いので把握しきれません。

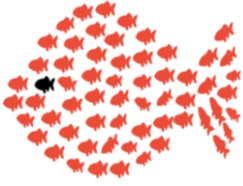
肌着、靴下等にも書いて下さい。時々、お部屋で着替えの確認をお願いします。

*スーパーの袋・ナイロン袋を持ち帰りましたら、持ち帰った枚数分持って来て下さい。



お部屋の中では…

ふじ組



先月末に修園旅行を終え、今は来月の発表会に向け劇の小道具作りをしたり、自分の役のセリフを覚え、大きな声で言えるよう頑張っています。まだ恥ずかしさがあるようですが、日に日に自信がついてきている様子が見てとれます。ふじ組にとって園生活最後の発表会。年長組として本番に向け、これまでの練習の中で一番の発表が出来るよう、練習していきたいです。

さくら組



さくら組では、発表会に向けて劇の台詞や踊りをみんなで考えて決めたり、色々な廃材や素材を使って、友達と一緒にイメージをふくらませながら衣装や小道具作りを楽しんでいます。練習ではみんな思い思いに役になりきって、セリフのやり取りや表現するのを楽しんでいます。まだまだ練習が必要ですが、自信を持って舞台上に立てるように応援していきたいと思います。来月も子ども達の思いやイメージを大切にしながら、工夫したり協力したりして、お店屋さんごっこや品物作りに参加していきたいです。

たんぽぽ組



たんぽぽ組の発表会の劇は『三匹のやぎのからがらどん』です。自分のなりたい役をみんなで話し合いをして決めました。毎日、セリフを覚えたり歌の練習をしたりと頑張っており組んでいます。嫌がる子も無く、セリフを忘れた子には、他の子が教えてあげたりカバーしてあげています。また、お面を自分で作ったり、小道具の製作を手伝ってくれました。子ども達は、お家の方に見てもらおうのを楽しみにしているので、成長した姿を見れるのを楽しみにして下さい。

ひまわり組



今月は天候も悪く、主に室内遊びを楽しみました。椅子取りゲーム・しっぽ取り・おおかみさん今何時？等の集団遊びから、お箸や鋏を使った遊びをしたり、色々な事に興味を持ち楽しみました。最近では、「先生、出来るようになったよ！」と見せてくれる子も増え、大きくなってきているなど感じます。これからも色々な遊びを取り入れたり、生活習慣面も出来る事を増やししながら、沢山の経験を積んでいけるようにしていきたいです。

れんげ組 (1歳児)



4月から比べると身体もひとまわり大きくなり、体操をしていると部屋が狭く感じられるようになりました。身の回りの事も自分でしようと頑張っています。お友達とのコミュニケーションをとろうとする姿も見られるようになりました。「貸して」「いいよ」「やだよ」という声が聞こえたり、うまく言えず取ってしまったり、取られて泣いてしまう事もあります。一人ひとりの気持ちを受け止め、保育士が仲立ちし、人との関わり方を沢山経験出来るようにしたいと思います。

れんげ組 (0歳児)



新しいお友達が増えて、他のお友達は嬉しそうにしたり興味を持ってぎゅーと抱きついたり、可愛い姿が見られます。新しいお友達は少し緊張しているみたいで、落ち着かない様子はまだありますが、給食をモグモグ食べたり音が鳴るおもちゃを持つと大喜びしています。他のお友達も園庭で元気よく身体を動かして遊んだり、自分で高い所に登ると、満足そうな顔をして拍手しています。又、給食中は自分でスプーンやフォークを持つと、食べ物を自分の口に入れようと頑張る姿も見られます。

子ども達の成長を見て

私がこの1年間の慈光保育園での生活を通して最も強く実感したことは、子ども達の成長です。春頃の0歳児の子ども達は、保育士である私たちが、抱っこをしたりおんぶをしたりして過ごすことがほとんどでした。

しかし、月日が経つにつれて自分から進んでハイハイしたり、ハイハイから立って歩こうとする姿をよく目にしました。

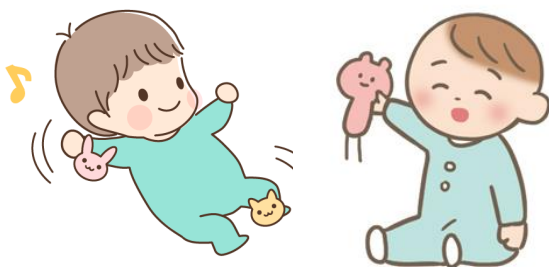
こういった子ども達の行動の変化を見ることは、学生時代には0歳児の子ども達と関わる事がほとんど無かった為、慈光保育園に入社して初めて見る事が出来ました。

子ども達が自分から進んで成長しようとする姿を見ると、私も何だか嬉しい気持ちになったり、私自身もどこか成長しているような気持ちになりました。

歩くこと以外にも子ども達は様々な成長を私に見せてくれました。例えば、給食の時には、最初の頃は保育士がスプーンで食事の手助けをすることが多かったですが、段々と自分から手づかみで食べたり、今ではスプーンを持って食べると嬉しそうにしています。遊んでいる時も子どもたちにとって少し難しいことが出来ると、嬉しそうに拍手して達成感を感じているような姿もたくさん見る事が出来ました。また、子どもたちが自分の思いを私達に伝えようとしてくれたり、悲しんだり喜んだりする表情も段々と豊かになっていきました。

子ども達にとって毎日の日々は、成長と隣り合わせの日々であり、また、保育士としての私にとっても子どもたちと一緒に成長出来たと思い嬉しく思います。

今後子ども達がどういう風に成長してくれるのか、楽しみであり、しっかりと見守り続けていきたいと思っています。



れんげ組 副担任 藤田有梨